

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより

第255号 2025年8月号



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地



ベッコウトンボ保護の歩み

磐田の昆虫であるベッコウトンボは、2012年に「絶滅危惧ⅠA」に指定されました。「絶滅危惧ⅠA」とは「ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い生き物」のことで、保護が必要です。そこで、桶ヶ谷沼管理運営委員会が中心となって、種の保全のためベッコウトンボの保護活動を進めています。

ビジターセンターだより8月号では、その取り組みのようすなどをお知らせします。



ベッコウトンボ

春のトンボで、3月中旬に羽化が始まり、5月末まで見ることができる。



かつての分布

以前は29都府県で姿を見ることができたが、環境の変化が原因で生息地が減った。



現在の分布

現在は5つ県のそれも極限られた地域にしか生息していない。静岡県では桶ヶ谷沼のみ。



アメリカザリガニの駆除

アメリカザリガニはトンボのヤゴを食べたり、ヤゴが隠れている水草の根茎を切ってしまうたりする。



天敵対策：コンテナ

アメリカザリガニの影響を受けないように沼の周りにコンテナを置き保護を図った。



産卵誘致

5月上旬にベッコウトンボの産卵を誘致する。他のトンボは棒で追い払い産卵させない。



コンテナに網をかける

他のトンボが侵入したり、産卵したりできないように、産卵誘致後は網をかける。



エサ(イトミミズ)を与える

ヤゴの順調な成長と共食いを防ぐことを狙いとして、7月から12月まで週1回餌を与える。



ヤゴの分別

年に数回コンテナ内のヤゴを取り出し、ベッコウトンボのヤゴだけをコンテナに戻す。



すだれをかけ、猛暑で水温が高くなったり、水が少なくなったりするのを防ぐ。

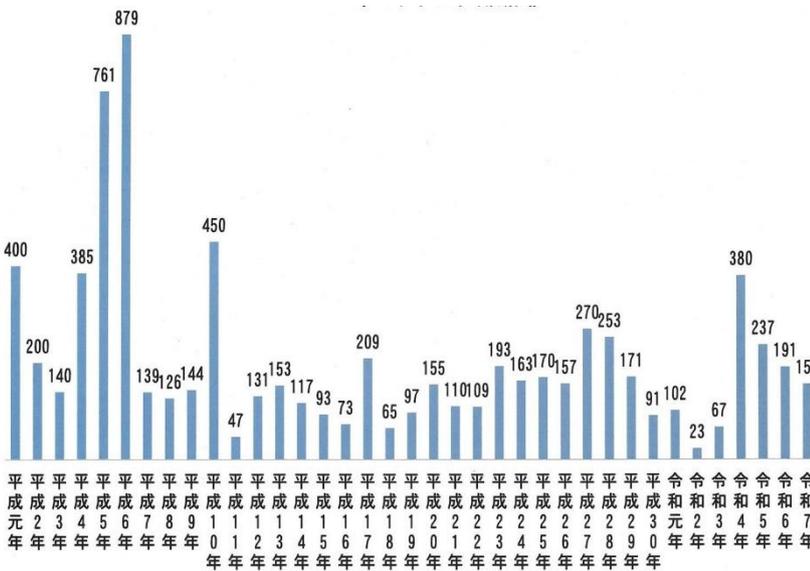


沼の北では「岩井里山の会」が「生け簀」(復元池)設置し、保護活動をすすめている。



コンテナで羽化したトンボが沼で産卵できるように、沼の草地を掘り、水面を切り開く。

ベッコウトンボ調査会での 確認頭数の推移 (約1時間の確認頭数) *毎年4月中旬に実施している



平成6年には約1時間で879頭のベッコウトンボを確認することができましたが、環境の変化や天敵の影響を受けて、確認頭数が減り、絶滅が危ぶまれました。特に平成10年に大発生したアメリカザリガニの影響は甚大で、平成11年には激減してしまいました。その年からアメリカザリガニの駆除などの保護の取り組みが始まりました。

その後も、アメリカザリガニの継続的な駆除や餌やり、産卵誘致、網掛けコンテナの設置などの対策を進めたことで、令和4年には確認頭数が大きく増えました。しかし近年は夏の猛暑の影響で数が減っています。そこでコンテナの上にすだれをかけたりポンプでコンテナの水量を増やしたりするなどの対策を進めています。

「コンテナで羽化したベッコウトンボが増え、沼本体から自然羽化をする。」そのような桶ヶ谷沼を実現できるように今後も試行錯誤を繰り返しながらより良い保護活動を模索していきます。

センター行事「秋の昆虫観察」

- ☆ 日時 10月12日(日) 13:30~15:30
 - ☆ 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼
 - ☆ 対象 一般(小学生は保護者の同伴で、未就学児の参加・見学はご遠慮ください)
 - ☆ 内容 秋の昆虫に関する講義を受けた後、桶ヶ谷沼に出かけ初秋の昆虫の観察をします。
雨天の場合は室内での講義となります。
 - ☆ 服装・持ち物 野外での観察ができる服装(長そで、長ズボン、帽子)、水筒、タオル、長靴、少雨の場合カッパ、虫取り網・虫かご・虫眼鏡(ある人)
*捕まえた昆虫は観察後逃がします。
 - ☆ 募集人数 20人 先着順
- *申し込みは直接、電話やファックスでビジターセンターへ**